

さくら事業所より

さくら事業所の支援員は昨年度と同体制でスタートしています。世話人は1名が退職し、5名体制となり、新しいシフトで支援を行っています。今回は、世話人さんの支援の様子を紹介いたします。当ホームの食事は世話人の愛情こもった手作りで、物価高騰でも工夫されたメニューは利用者様大変好評です。ホームページでも紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭5丁目3-3STビルB棟1階

TEL：0229-25-5815

共同生活援助事業所さくら（介護サービス包括型）

グループホーム「こはる」「さくら」「くじら」「あじさい」

●令和7年度 重点項目

「安定的な経営のための入居者の確保」



400円で提供されています。



毎日の夕食が楽しみです。

援護寮概要

大崎市古川にある宮城県援護寮は、宮城県からの委託を受け、県内（仙台市を除く）に住む精神的な病気や障害を持つ方を対象に、本人の意思を基に2年間の宿泊型自立支援を行う施設です。自立生活に必要な服薬・金銭管理、掃除、調理などの生活技術や相談支援を提供するとともに、消費生活講座や創作活動などの日中プログラムを通じて訓練を行います。特に対人関係スキルの向上を目指し、「社会生活技能訓練（SST）」を取り入れています。また、短期間の入所や地域生活への移行支援も実施し、利用者の将来設計をサポートしています。

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭5丁目7-21

TEL:0229-23-1513/FAX:0229-23-1562

①自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練【定員20名】

②短期入所（ショートステイ）【定員1日2名】

●指定管理7期目

●令和7年度 重点項目

「施設利用率の向上」



編集後記

お花見外出や女川への外出、生活訓練の様子を通して、利用者様の日常と当施設の雰囲気少しでも伝わり、興味を持っていただければ幸いです。今後も関係機関の皆様へ、地域と共にある当施設の姿をお届けしてまいります。

Kenpokku

7月号

6月25日に女川町まで外出しました。旧女川交番まで足を運び、震災当時の様子や復興の歩みについて学ぶことができました。また、道の駅「上品の郷」で買い物や食事を楽しみました。



センター長挨拶

地域の関係者の皆様には大変お世話になっております。当施設では対人スキルを身に着け、生活をより良いものにするため令和3年度から社会生活技能訓練（SST）に取り組んでいます。社会生活技能訓練（SST）で対人スキルを練習することで人との関わりから笑顔が増えたり、利用者様同士でコミュニケーションを取りながら材料をそろえて料理をしたりするなどの効果も見えてきています。また、社会生活技能訓練（SST）の研修も受講し、職員自身の支援の視点や利用者様への対応も向上しています。これからも利用者様の自立に向けてお手伝いをしてまいります。

センター長 鷲 伸晃

ホームページで短期入所の空き状況や利用までの流れ、短期入所の利用予約、宮城県援護寮の見学予約の申込フォームを掲載しております。
また、「県北ブログ」を随時更新しております。
以下二次元コードを読み取り、ぜひご覧ください！



ホームページ



短期入所予約フォーム



見学予約フォーム

4月8日（大河原）、15日（塩竈）
にお花見外出へ出かけました。美しい桜を見ながらおいしい食事を楽しみました。



専門講座



『身だしなみ講座』
資生堂様から講師をお招きし、男女分かれてスキンケアとメイクについてプロの技を教えてくださいました。利用者様から『美容男子』なんて言葉も飛び出すくらい充実した講義となりました。



『食中毒予防講座』
大崎保健所から来ていただき、食中毒について詳しい説明と手洗いを実際に教えてくださいました。手洗いは洗えていたと思ってこんなに汚れているなんて…。実際にこれからの季節もっとも気をつけないといけないですね。



第1回見学会



相談支援事業所や当事者の方、病院関係者の方々が参加されました。



次回は9月
開催予定です

日中活動



『ものづくり』



『共同調理』



『グループトーク』



『寮外活動』



『生活講座』